

小規模事業者 景気動向調査報告書

(令和3年1～3月期)

延岡商工会議所／中小企業相談所

延岡市中央通3丁目5-1

TEL 0982(33)6666

FAX 0982(33)6682

I. 実施概要

1. 調査対象事業所数	125事業所
2. 回答事業所数	75事業所
3. 回答率	60.0%
4. 業種別内訳	
製造業	14事業所
建設業	7事業所
卸売業	5事業所
小売業	34事業所
サービス業	15事業所
合計	75事業所

5. 実施時期

令和3年 4月から6月

6. 調査対象期間

令和3年 1月～3月（第4四半期）

7. 調査内容

調査対象期間である第1四半期について前年同期比、前期比、来期見通しの売上（受注）状況、採算（経常利益）、資金繰り、材料仕入価格、雇用（労働力）状況、設備投資計画、業況の各項目についての状況。

（D I 値の集計）

※ D I 値（景況判断指数）について

D I 値は、売上、採算、資金繰り、仕入価格、雇用状況、設備投資、業況の各項目についての判断の状況を表す。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気、弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

$D I = (\text{増加・好転などの回答割合}) - (\text{減少・悪化などの回答割合})$

売上：（増加）－（減少）

採算：（好転）－（悪化）

資金繰り：（好転）－（悪化）

仕入価格：（低下）－（上昇）

従業員：（不足）－（過剰）

設備投資：（拡大）－（縮小）

業況：（好転）－（悪化）

8. 調査方法

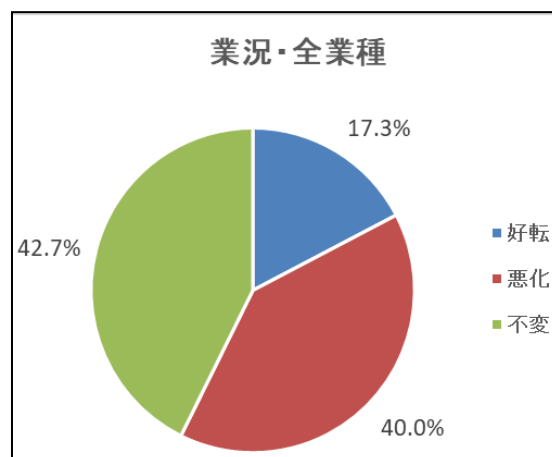
調査対象事業所に対して、調査票を郵送しファクシミリ及び電子メール等で回収、当所にて集計、分析を行う。

Ⅱ. 概況

1. 全業種の業況

全業種の業況判断として、前年同期比（令和2年1～3月）のD I値は▲22.7ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は17.3%、悪化したと回答した事業所が40.0%、変わらないと回答した事業所は42.7%だった。



令和3年1～3月の前年同期比については、売上の回復・増加したという回答が複数あったものの、長期化する新型コロナウイルス感染症の影響により、全体的に経営状況は厳しく、特に小売業・サービス業は、業況が悪化したという回答が多かった。

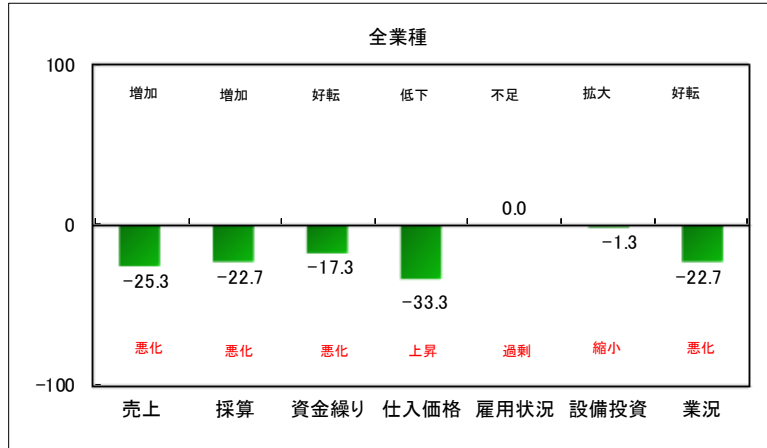
	R2. 1～3 前年同月比	R2. 10～12 前期比	R3. 4～6 見通し
全業種	▲22.7	▲34.7	▲33.3
製造業	0.0	7.1	0.0
建設業	0.0	▲14.3	▲28.6
卸売業	0.0	▲20.0	▲60.0
小売業	▲44.1	▲61.8	▲55.9
サービス業	▲13.3	▲26.7	▲6.7

来期見通し（令和3年4～6月）のD I値については、▲33.3ポイント。新型コロナウイルス感染症の影響が長期化し、先行きが見えないという意見が多かった。また、新型コロナウイルスワクチンの接種開始による早期終息と経済回復に期待する意見も多数あった。

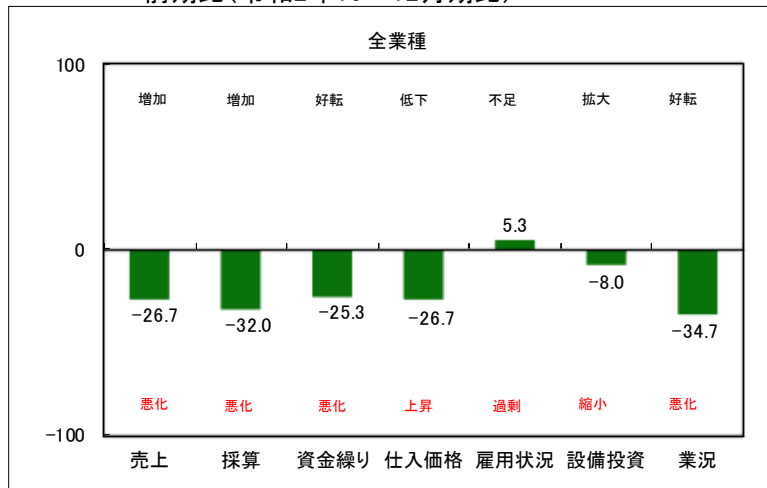
市内景気動向

全業種

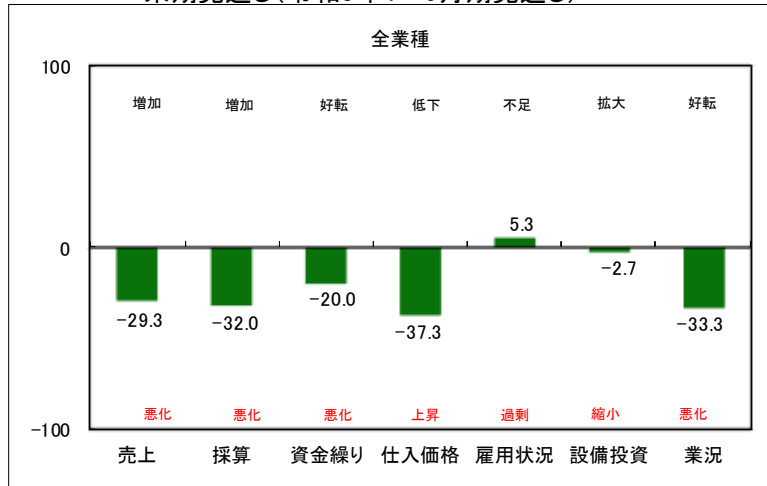
前年同期比(令和2年1~3月期比)



前期比(令和2年10~12月期比)



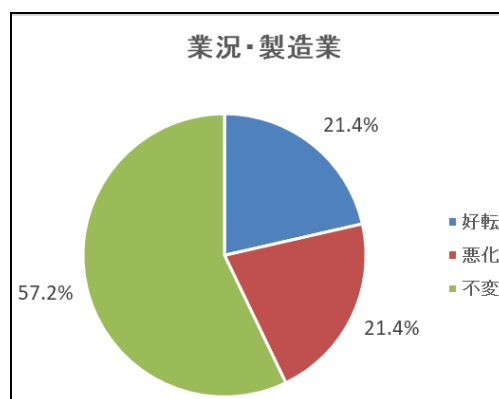
来期見通し(令和3年4~6月期見通し)



2. 業種別の概要

- ① 製造業の業況判断は、
前年同期比のD I 値が0.0ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は、
21.4%、
悪化したと回答した事業所が21.4%、
変わらないと回答した事業所が57.2%
だった。



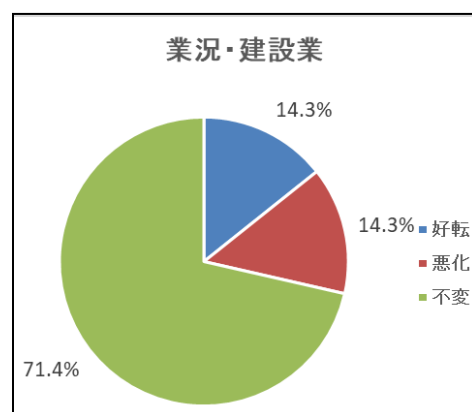
来期見通しD I 値は0.0ポイントで、不変の見通しとなっている。

○主な意見

業種	意見
金属製品加工業	電子部品関係が好調である。
機械関連製造業	売上は回復しつつあるが、まだ低迷している。
精密部品加工業	生産ラインの仕事が減少した事で売上が減少した。
機械関連製造業	見通しは、難しいが、分野によっては好転している所もある。
看板・標識機製造業	新店舗が少ない為、売上が減少している。

- ② 建設業の業況判断は、
前年同期比のD I 値が0.0ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は14.3%、
悪化したと回答した事業所は14.3%、
変わらないと回答した事業所は71.4%だった。



来期見通しのD I 値は、▲28.6ポイントで、悪化する見通しとなっている。

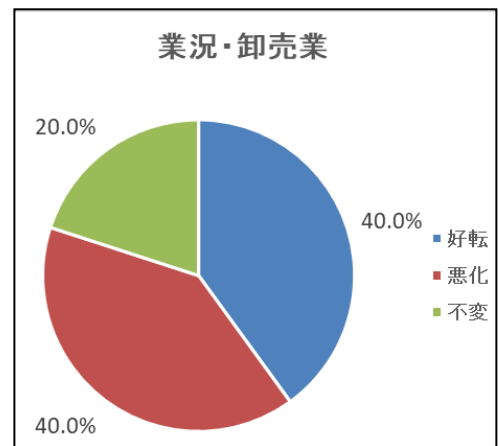
○主な意見

業種	意見
土木工事業	先行きが見えない。
土木・管工事業	工事受注高の維持に努めた。
土木工事業	民間工事が活発に動き始めた為、好転すると見込んでいる。

③ 卸売業の業況判断は、
前年同期比のD I 値が0.0ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は40.0%、
悪化したと回答した事業所が40.0%、
変わらないと回答した事業所は20.0%だった。

来期の見通しD I 値は、▲60.0ポイントで、
悪化する見通しとなっている。



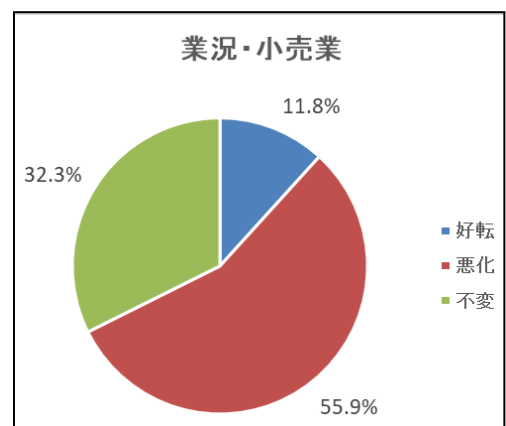
○主な意見

業種	意見
新建材・木材・住宅機器卸売業	売上が増加し、業況も安定している。
業務用食料品卸売業	1、2月は緊急事態宣言により売上が激減した。
事務用品、事務機器販売業	これから閑散期になるので、売上は悪化の見込み。
機械器具卸売業	大きな案件の受注見通しが立たない為、引き続き不安定な状況は続く見込み。
建設、建築設備資材卸売業	仕入価格の高騰もあり、なかなか厳しい状況になる見込み。

④ 小売業の業況判断は、
前年同期比のD I 値が▲44.1ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は11.8%、
悪化したと回答した事業所は55.9%、
変わらないと回答した事業所は32.3%だった。

来期の見通しD I 値は、▲55.9ポイントで、
悪化の見通しとなっている。

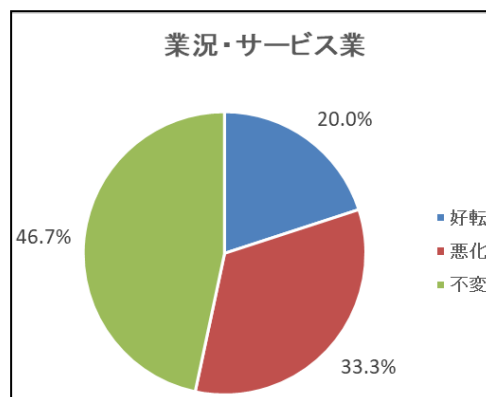


○主な意見

業種	意見
飲食業	県外からの往来を禁止にすると営業にならない。
衣料品小売業	旅行や飲食で人が動かないと、アパレルの売り上げは厳しい。
飲食業	テイクアウトを始めたが、ブームが過ぎ、売上が減少した。
菓子小売業	感染症対策の衛生費の負担が大きいため、先行きは不安でしかない。
寝具小売業	プレミアム商品券による消費の活性化に期待している。

⑤ サービス業の業況判断は、
前年同期比のD I 値が▲13.3ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は20.0%、
悪化したと回答した事業所は33.3%、
変わらないと回答した事業所は46.7%だった。



来期見通しD I 値は、▲6.7ポイントで、悪化する見通しとなっている。

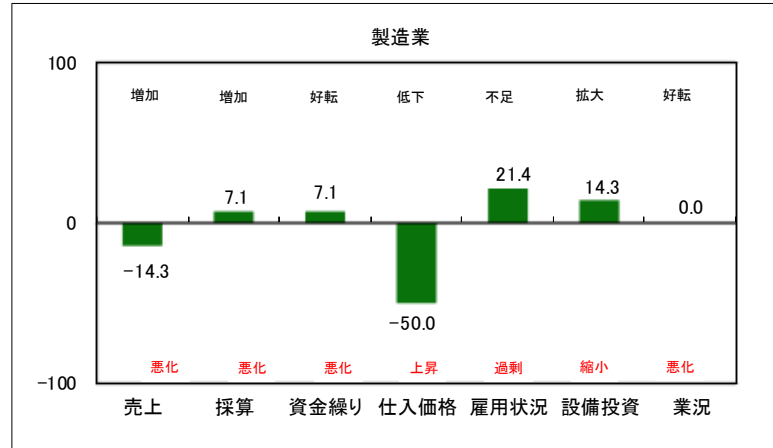
主な意見

業種	意見
理容業	感染者が増えると売上が減少するので、コロナワクチンの早期接種が出来れば、業況は変わると思う。
自動車整備業	コロナ感染の終息が来ない限り状況は不変か悪化する。
美容業	コロナの影響もあり、売上は減少。今後を予想し、人手を増やしたが、業績向上にはもう少し時間が掛かりそう。
美容業	ブライダルや成人式の延期が続き、厳しい状況が続いている。
専門サービス業	新型コロナの影響で相談業務（業務依頼）が増えた。

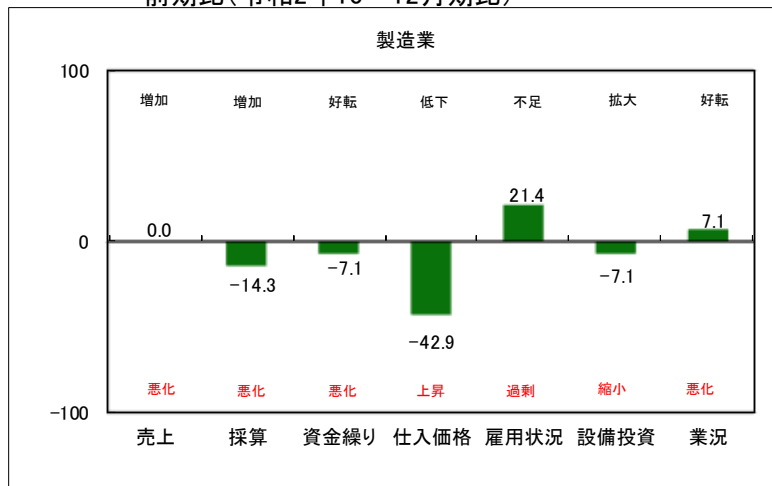
業種別景気動向

製造業

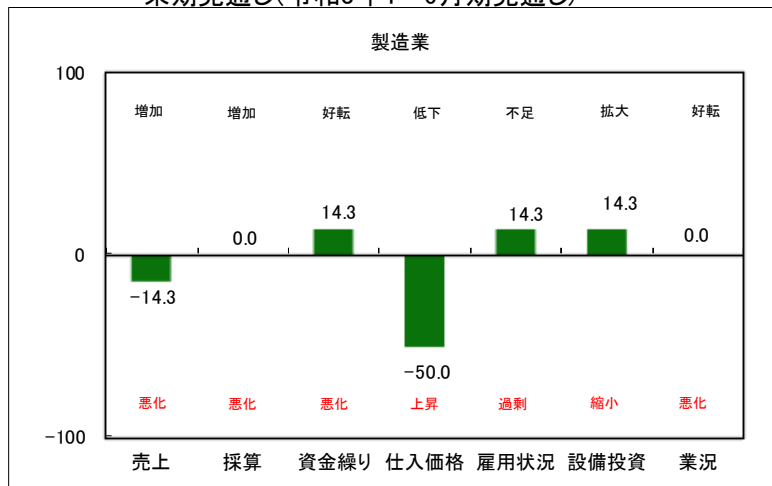
前年同期比(令和2年1~3月期比)



前期比(令和2年10~12月期比)



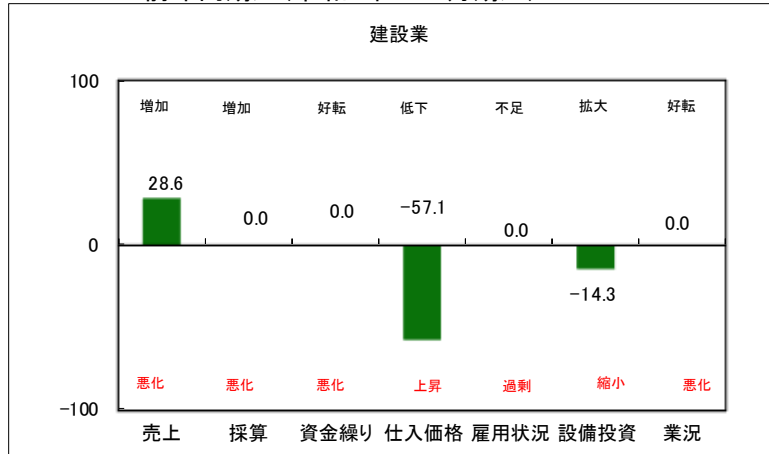
来期見通し(令和3年4~6月期見通し)



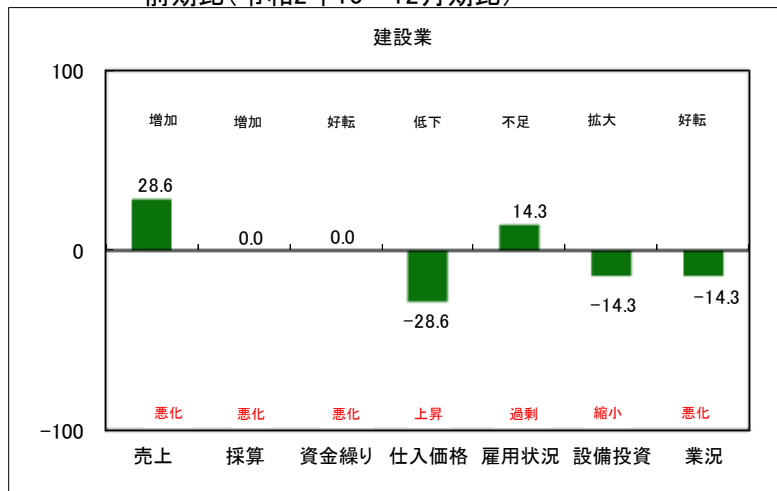
業種別景気動向

建設業

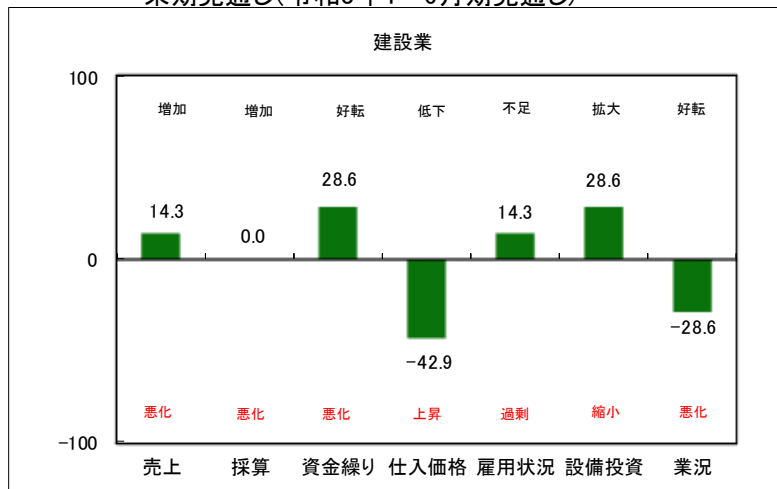
前年同期比(令和2年1~3月期比)



前期比(令和2年10~12月期比)



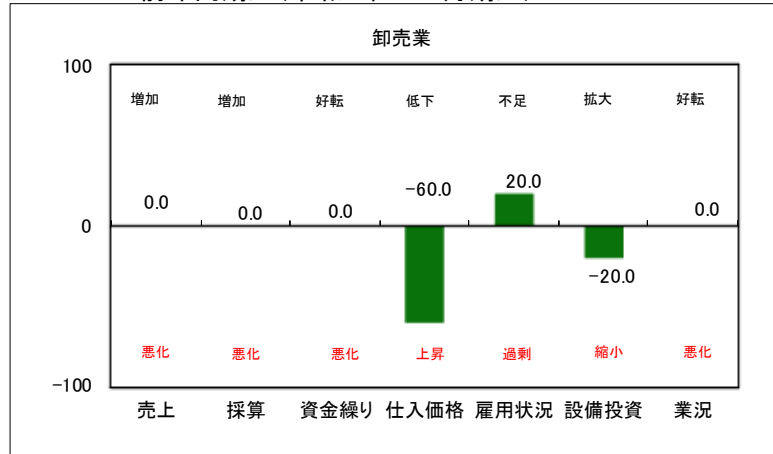
来期見通し(令和3年4~6月期見通し)



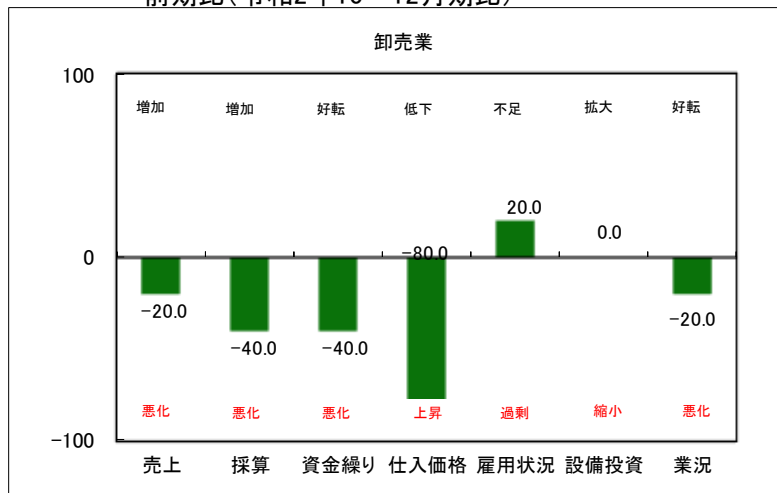
業種別景気動向

卸売業

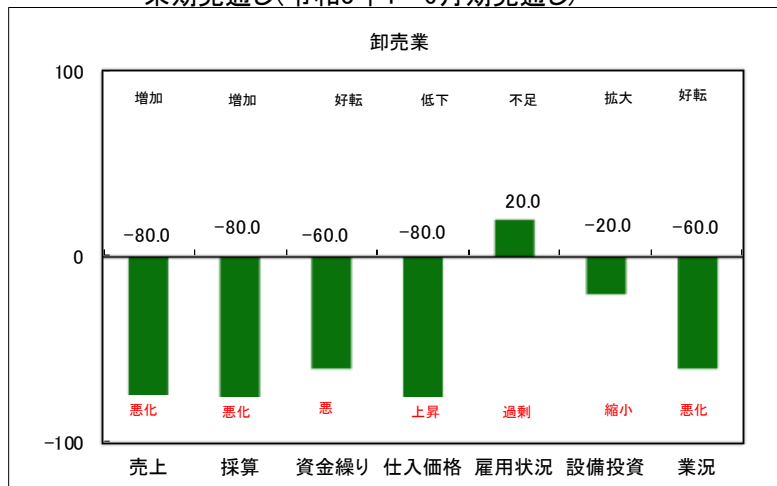
前年同期比(令和2年1~3月期比)



前期比(令和2年10~12月期比)



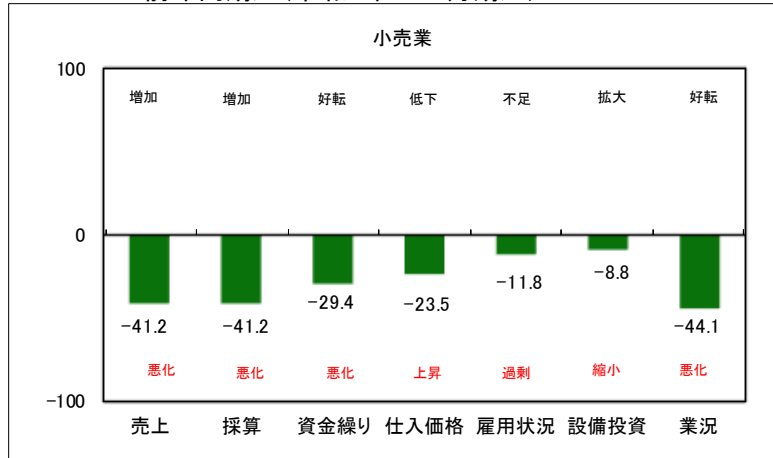
来期見通し(令和3年4~6月期見通し)



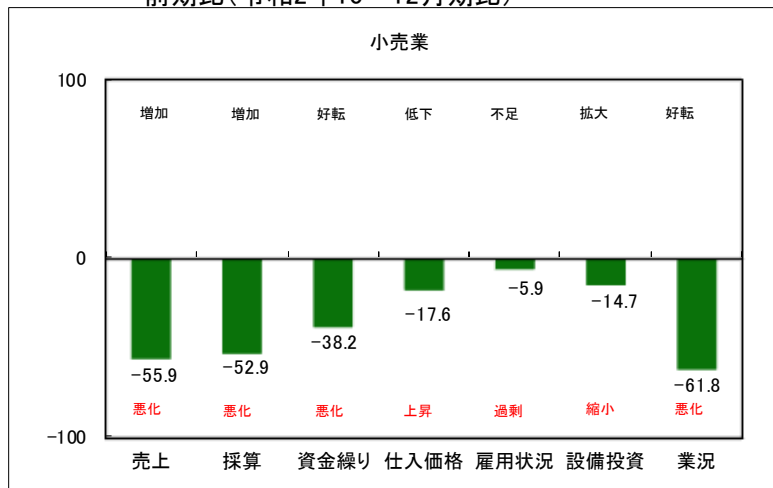
業種別景気動向

小売業

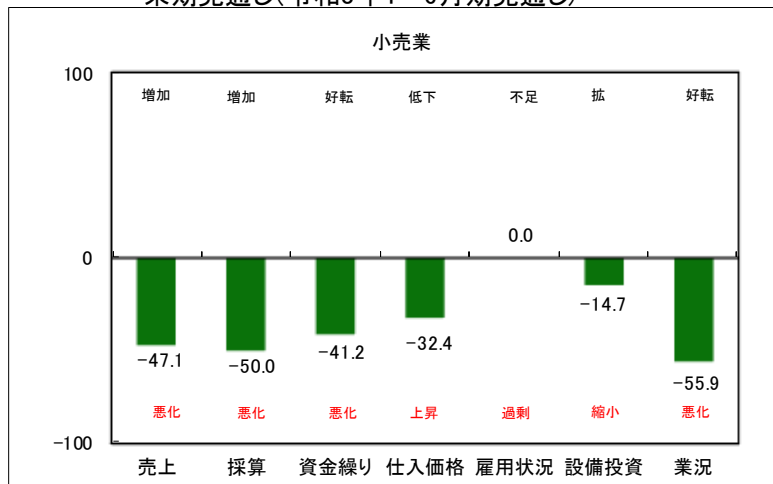
前年同期比(令和2年1~3月期比)



前期比(令和2年10~12月期比)



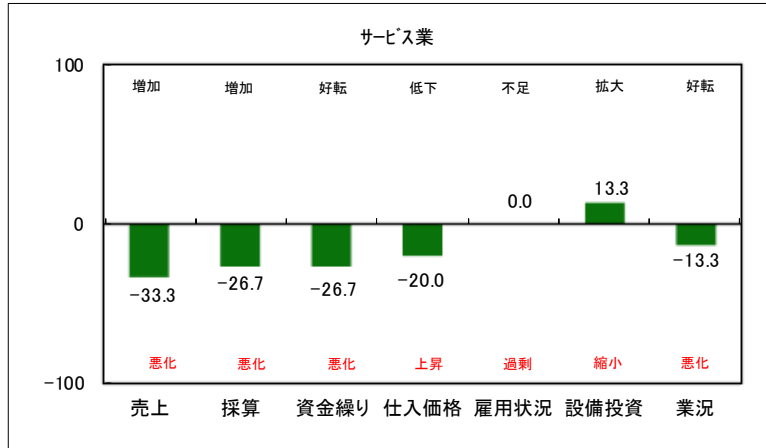
来期見通し(令和3年4~6月期見通し)



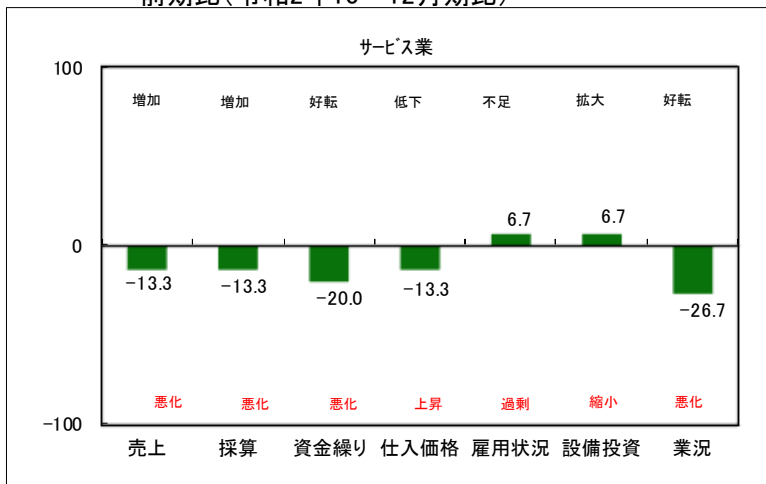
業種別景気動向

サービス業

前年同期比(令和2年1~3月期比)



前期比(令和2年10~12月期比)



来期見通し(令和3年4~6月期見通し)

